

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成20年6月19日 (2008.6.19)

【公開番号】特開2005-122734(P2005-122734A)
【公開日】平成17年5月12日 (2005.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2005-018
【出願番号】特願2004-296162(P2004-296162)
【国際特許分類】

G 0 8 C 19/00 (2006.01)

G 0 1 K 1/08 (2006.01)

【F I】

G 0 8 C 19/00 J

G 0 1 K 1/08 Z

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月7日 (2008.5.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 5】

この接続ヘッドのサイズ制限は、送信機内で有効なリード線接続のタイプに厳しい制約を置く。従来、端子ブロックは、センサ、通信及び/又は電力リード線自身を送信機の電子機器に接続するのに使用されてきた。さらに、幾つかの既知のコンパクト温度送信機は、また、メンテナンス及び/又は診断のために、技術者によって、外部リード線の電子機器モジュールへの取り付けを容易にする外部リード線取り付けクリップを提供する。

本発明に関連する従来技術として、下記の特許文献 1 および 2 に記されているものがある。

【特許文献 1】米国特許第 4 , 0 2 1 , 0 9 4 号明細書
【特許文献 2】米国特許第 5 , 9 9 9 , 3 9 3 号明細書